



龍門滝



広報

かじき

人口・世帯の動き

(平成6年7月1日現在)

総人口23,516人(30)	出生 22人
男 10,983人(17)	死亡 20人
女 12,533人(13)	転入 113人
世帯数 8,586 (15)	転出 84人

●()内は前月との比較

宇都宮町長



未来をみつめる目は、まぶしく光っている

男の顔

「の城」こと、城彰二選手の素顔である。

いい顔だ。
ほとばしる汗、まぶしいほどのまなざし、はち切れんばかりの若さ——。「エース

み出ているからだ。弱冠十九歳だが、彼の瞳に浮かぶ夢はとてつもなく大きい。めざすは世界だ。その距離もそう遠くはない。大望を飲んだ顔は、自信にあふれて光り輝いている。……男の顔とはこうありがたいものだ。

平成6年

今月のページ

☆エースの城後援会発足…2ページ ☆くも合戦…3ページ
☆議会報告…4ページ ☆文化会館…5ページ ☆保健婦
だより…6～7ページ ☆町の話…8～9ページ ☆小説・龍
門滝温泉…10～11ページ ☆がじがラス…12ページ
☆加治木文化財ウォッチング…13ページ ☆おしらせ…14ページ



月号

●No. 477

発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62-2111 ●

“エースの城” (城彰二選手)

後援会発足!

おおぜいのファンが祝福

さわやかな笑顔をふりまく



「ワールドカップ出場めざして
がんばります」

“エースの城” (城彰二選手)
後援会設立総会は六月十八日、五百人あまりのファンが参加して町営体育館で開催されました。

チビッ子サッカー教室は、あいにくの雨空のため加治木小学校体育館で開かれましたが、各町から参加した六百余人あまりのサッカースポーツ少年団のメンバーは、本物の「ジョー」を間近に見てさすがに興奮した様子。彼の見えるプロのリフティングやボールコントロールなど目を見張り、さかんに歓声をあげていました。

後援会は、午後六時半から開催され、事務局の提案した予算案や事業計画案などを満場一致で承認し、すぐ激励会を開催。宇都宮明人後援会長が「日本のジョー、世界のジョーをめざしてがんばり、ぜひワールドカップ出場を果たしてください」と激励しました。

また、山崎亨鹿児島県サッカー協会理事や、佐久間隆義千葉県市原市サッカー協会会長らも激励に訪れ、城彰二選手の非凡さを絶賛するとともに、「結成された後援会の強力な後押しを期待しています」と力強く訴えました。

これに対して、城選手は「みなさん、今日はありがとうございます。これから一生けんめいがんばります。私に力をください。ワールドカップ出場をめざしてがんばります」と力強く表明。また、懇親会では記念写真をとるため、ひっきりなしに彼の横に立つファンのため、終始にこやかな笑顔を

ふりまいていました。

激励会には両親はもちろん、おじいちゃんや義信さんや二人の弟も参列していましたが、兄のさつそうとした暗れ舞台に満足そうでした。

また翌日は、南九州病院の筋ジス病棟を訪問。城選手の姿を見て無心に喜ぶ子どもたちにサインをプレゼントしたり、病気に負けないようにと元気づけていました。

さすがにスポーツマンはいい顔をしています。目が光り輝き、生き生きとしています。そんなさわやかな笑顔に、また城ファンは魅了されるのでしょうか。

第二ステージでの、さらなる活躍を期待しています。

後援会加入を受付

入会希望の方は、今後も町体育保健課で受け付けています。



プロのわざを披露

加治木名物

くも合戦



熱戦をくりひろげるクモを
鋭くみつめる審判の目

おおぜいの観客でにぎわう

優勝は

徳田 幸雄さん(吹上町)

王将戦

加治木名物くも合戦は六月十九日福祉センターで開催され、おおぜいの観客でにぎわいました。

この日は、大人三十三人、子ども九十八人の百三十一人がそれぞれ三匹ずつ黄金ぐもを出し、総勢四百匹余りの熱い戦を繰り広げましたが、特に今年は、報道関係の方もくもを出場させ、レンズをのぞく目を休ませては合戦に熱中。加治木の歴史ある伝統行事を心ゆくまで堪能していました。

戦績(敬称略)

優良ぐもの部

優勝 久保田チエ子(鹿児島市)

二位 徳田幸雄(吹上町)

三位 久保田光二(鹿児島市)

合戦の部

(大人の部)

優勝 入部 力

二位 吉村正利

三位 久保田光二

(子どもの部)

優勝 吉村伸一郎

二位 久保田光博

三位 久保田かおり

王将戦の部

(大人の部)

優勝 徳田幸雄

二位 久保田光二

(子どもの部)

優勝 久保田健嗣

二位 有木史織

力作がいっぱい
くも合戦

習字・絵画コンクール

この日は、くも合戦の習字と絵画コンクールの表彰式も行われました。

これは、くも合戦保存会(立山経弘会長)が、平成四年の四百周年記念大会から町内の小学生を対象に実施しているもので、今回の作品も力作がいっぱいで、審査に悲鳴をあげていました。

(習字)

金賞 田平 裕幸 柁城小六年

銀賞 上之園康平 柁城小六年

市来 寛彬 加治木小四年

銅賞 浜崎 麻未 柁城小六年

石原 美紅 柁城小四年

(絵画)

金賞 猪目 大地 加治木小三年

銀賞 豊留 一平 加治木小二年

有元 孝平 竜門小一年

原田 政貢 竜門小三年

福元 智博 竜門小三年

中島 理沙 加治木小三年

村井 菜友 加治木小三年

長野 拓也 柁城小三年

梅木 悟史 柁城小三年

立元 悠樹 錦江小一年



からみあい、糸を切る……

議会報告〈第二回定例会〉

四千二百一万三千円を

追加補正

第二回町議会定例会は、六月二十一日から三十日まで
の十日間の会期で開かれ、一般会計補正予算案四千二百
一万三千円などの議案六件を可決し、提案や陳情などが
審議されました。

予算総額は

六十九億

六千九百八十七万七千円に

さえずりの森

来年四月に

オープン



宇都宮町長の説明

一般補正予算は四千二百一万三千円を追加し、予算総額は六十九億六千九百八十七万七千円となりました。

主なものは、さえずりの森キャンプ場の整備費、国際青年の村アクシヨニリサーチ事業費、盲人用卓球道具購入費、楠原・弓削線などの舗装補修費、埋蔵文化財発掘費用などです。



おめでとうございます



ピカピカの新車です

対応が早くなりました

活動車を二台購入

在宅介護支援センター

「これだと思いつき、動き回れるわ」とは、在宅介護支援センターのヘルパーさんたち。

このたび、町では、在宅福祉の充実を図るため加治木望岳園に委託している「在宅介護支援センター」の車と、ホームヘルパー用の活動車を購入しました。

在宅介護支援センターとは、町内に住む在宅のねたきり老人や障害者又はその介護者の、在宅介護に関するいろいろな悩み・相談に気軽に応じるところで、二十四時間体制で専門家が指導・助言し、それに応じて必要な福祉サービス

が受けられるシステムです。

たとえば、ホームヘルパー派遣やデイサービス、ショートステイなどの相談を受けると、対象者のお宅まで訪問して、その申請や手続の便宜を図って、あらゆる福祉問題に当たっています。

現在、二台とも在宅福祉サービスにフル稼働しています。

福祉サービスの相談は、

☆役場福祉課

☎六二二二一一・内線一五一

☆在宅介護支援センター

☎六二二三五五三

へお気軽にご相談ください。

勲七等青色桐葉章を受賞

萩原の犬童春美さん

萩原にお住まいの犬童春美さん（七十三歳）が、勲七等青色桐葉章を受賞されました。

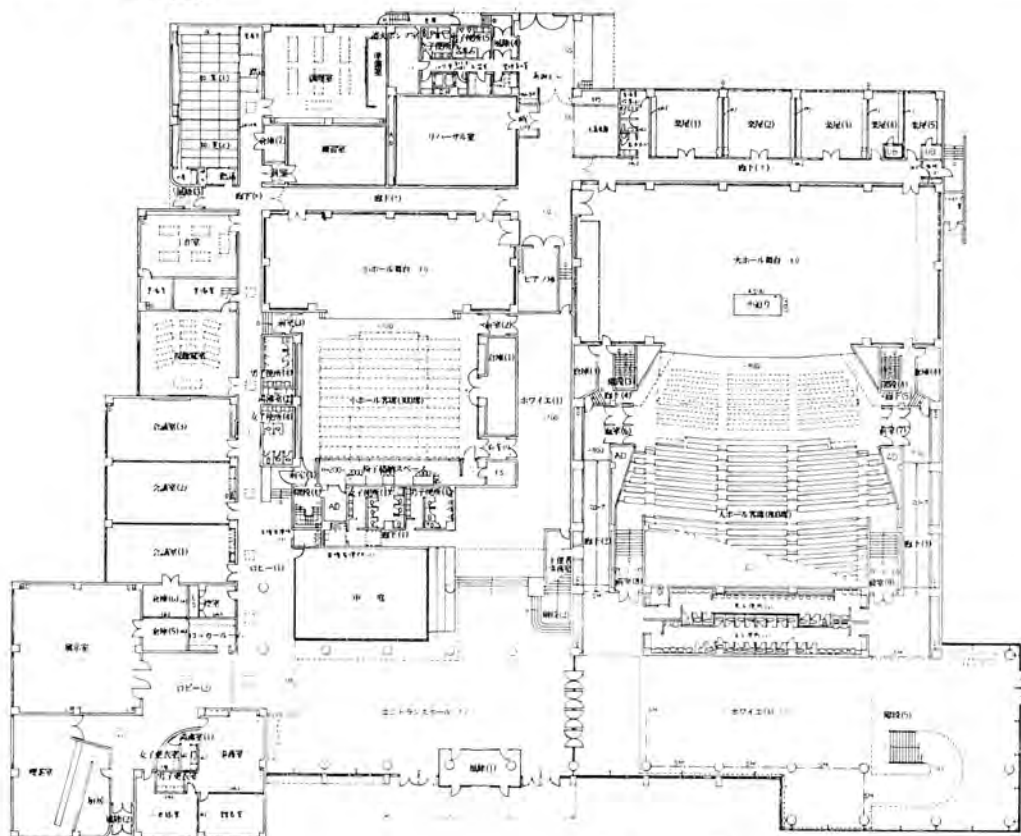
犬童さんは現在、妻のミキ子さんと二人暮らしで、警察畑三十二年という経歴を感じさせない、温厚で控え目な性格。昭和二十年九月に岩川署に勤務以来、国分、種子島、川内、大島と転勤され、昭和五十三年、鹿児島中央署を最後に退職。「離島の勤務が長かった

ので表彰されたのでしよう。もったいなくて、身に余る光栄です」と人柄のせいか恐縮そう。「思い出すのは、正月に起きた外山事件で、聞き込みの最中、雪が積もっていて単車で何回も転んだことかな」と、なつかしうに当時を回想していました。

また七月十日、公民館で萩原長寿会による祝賀会があり、ご夫妻はたいへん喜んでいました。

完成予想図

平成八年オープン!



正面

仮称

文化会館

工事請負契約を締結

仮称・加治木町文化会館建設に関する臨時議会が七月十五日に開催され、本体・空調、電気など六工事の工事請負契約締結議案が可決されました。

これは、六月議会に提案される予定でしたが、新聞紙上に「設計事務所を通じ、すでに落札業者は決まっている」と報道され、六工事のうち三工事について名指しされた業者が落札したため、町は直ちに設計事務所と落札業者を呼んで、詳細にわたって事情聴取を行いました。

宇都宮町長は、調査の結果、新聞に報道されたような事実は確認できなかったとして、臨時議会を招集。議会で、「調査の結果、談合の事実はない」と報告。また、「入札の透明性と競争性を高め、談合などを排除するための現時点におけるベストの方法を採用し、県内ではじめての制限付一般競争入札を導入しましたが、こんな結果になり、誠に残念なことを考えています」と遺憾の意を表明。その後、議会は談合などに関する質疑を慎重に行い、六工事の工事請負契約議案を原案どおり可決しました。

「談合の事実なし」

として

臨時議会で可決

契約業者と金額（消費税込み）

□本体・空調設備工事

業者 (株)鴻池組

金額 2,451,400,000円

□電気設備工事

業者 (株)きんでん

金額 252,350,000円

□給排水衛生設備工事

業者 第一工業(株)

金額 216,300,000円

□舞台機構設備工事

業者 三精輸送機(株)

金額 404,790,000円

□舞台音響設備工事

業者 松下電器産業(株)

金額 96,820,000円

□舞台照明設備工事

業者 松村電機製作所

金額 155,530,000円

保健婦だより

基本健診

コンピュータ受付で

スムーズなすべり出し！

〔基本健診〕

六月の基本健診は、七日の市来原公民館を振り出しに三会場、七月は六会場で実施されましたが、コンピュータの導入により受付事務が短時間で済み、検尿・身体計測・血圧測定・採血・眼底検査・心電図・医師診察・保健指導などが順調かつ、スピーディに実施で

きるようになりました。早い方は一時間以内に終了し、受診者に喜ばれています。

〔健診結果〕

報告会を約一か月後に設定し、個人別にその結果に応じた指導・助言をしています。

※ 医師や保健婦、栄養士の話を謙虚に受け止め、明日からの生活

に生かし、健康づくりにつとめましょう。

〔健診後の追跡調査〕

来年度から、「要医療」になつた方は医療を受けているか確認されます。

※ 年一回は必ず基本健診を受けて、成人病を引き起こさない努力をして、健康な生活を築いていきましょう。

成人病は自分でつくってしまうものです。体質だとあきらめる前に、保健センターで健診を受けてください。

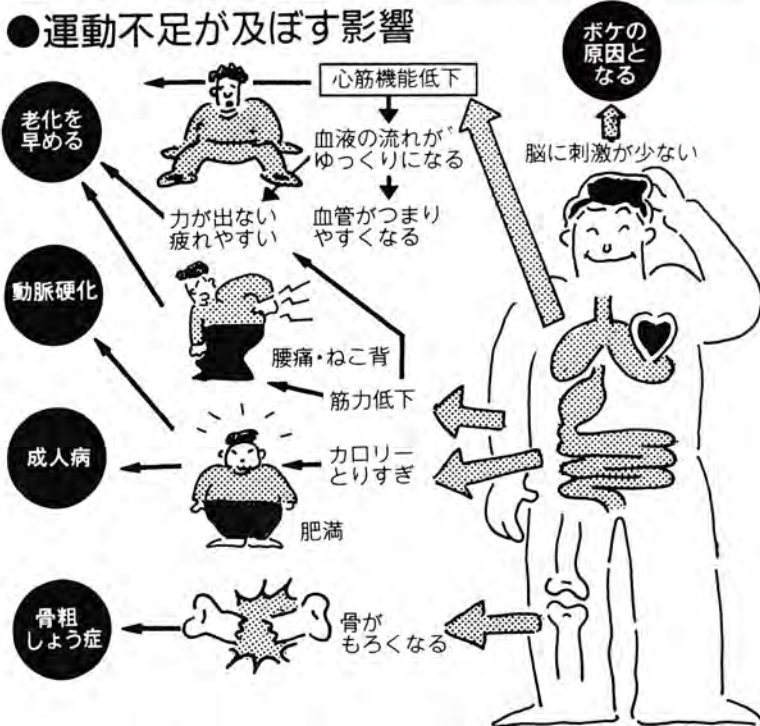
これからの基本健診

日 時	場 所	対 象 者
9月6日(火)	12:30~13:30受付 保健センター	西町、天神、今町、毘沙門、下浜、中浜、上浜、向江町、東塩入
9月8日(木)	12:30~	中塩入、南塩入、郁文館住宅、西塩入上、岩原東、西塩入中・下、江口団地、西江口団地、西塩入団地、明神
10月26日(水)	12:30~	岩原西、須崎、豊町
10月31日(月)	7:30~8:30	(システム健診+歯科検診) 40歳になられた方
11月1日(火)	〃	(基本健診+胃がん検診) システム健診を申し込まれた方
11月2日(水)	〃	〃
11月4日(金)	〃	〃
11月7日(月)	〃	〃
11月8日(火)	〃	〃
11月9日(水)	〃	〃
11月10日(木)	〃	〃
11月11日(金)	〃 西別府公民館	西別府、辺川地区でシステム健診を申し込まれた方
11月17日(木)	9:00~10:00 辺川公民館	辺川中・下、市野、市野々、鶴原
12月6日(火)	12:30~13:30 保健センター	高井田、春日団地、空港団地、小島、中央、原ノ門、赤坂、里ノ下、日本山黒川
12月20日(火)	12:30~13:30 西別府公民館	隈原上・下、丸岡、桃木野、曲田、提水流、永原、菖蒲谷、桑迫、ヒナバ、嶽

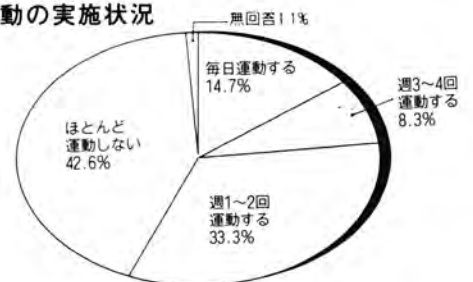
※ 各個人宛受診票を送付しますので、割当てられた日に受けてください。

暮らしの中に運動を

●運動不足が及ぼす影響



●運動の実施状況



(本県の意識調査/平成4年)

●運動の効果

- 1 体の脂肪を燃やし肥満を予防。
- 2 善玉コレステロール(HDL)が増加し、動脈硬化を予防。
- 3 ストレス解消。
- 4 体の防衛力、抵抗力を高める。
- 5 骨を丈夫にし、筋肉をきたえる。
- 6 心臓や肺臓の機能を高める。
- 7 血糖値が下がり、糖尿病が改善される。

8月行事予定表 (保健関係)

日 曜	行 事	日 曜	行 事
1 月	健康相談 保健センター 9:30～11:00 辺 川 9:30～10:30	17 水	母親学級 13:30～15:30 保健センター 機能訓練 9:30～11:00
2 火	健康診査結果報告会(6月30日実施分) みろく公民館 14:00～14:30受付	18 木	3歳児健診 13:15～13:30受付
3 水	機能訓練 9:30～11:00 保健センター 健康診査結果報告会(7月1日実施分) 13:15～13:30受付保健センター	19 金	3か月児健診
4 木	訪問看護婦連絡会10:00～ 保健センター	22 月	健康相談 保健センター 9:30～11:00
5 金	管内保健婦定例会 10:00～ 保健所	23 火	6か月児健診 13:15～13:30受付 厚生連健診結果報告会 AM. 9:00～ 小山田公民館 PM. 13:30 加治木小学校
8 月	健康相談 保健センター 9:30～11:00	24 水	機能訓練 9:30～11:00 保健センター 母親学級 13:30～15:30
9 火	健康相談 温泉センター 10:00～15:00 かみかみ検診 13:00～13:00受付 保健センター 食生活改善推進員養成講座 9:00～14:00	25 木	健康相談(温泉) 10:00～15:00 健診結果報告会 13:15～13:30受付 保健センター
10 水	機能訓練 9:30～11:00 保健センター かみかみ検診 13:00～13:20受付 保健センター	26 金	食生活改善推進員研修会 9:30～
11 木	運動推進員研修会 9:30～11:00 かみかみ検診 13:00～13:20受付 保健センター	29 月	健康相談 保健センター 9:30～11:00
12 金	母子健康相談 13:30～15:00	30 火	食生活改善推進員養成講座 9:00～14:00 健康診査結果報告会 楠原於 11:00～13:00
15 月	健康相談 保健センター 9:30～11:00	31 水	1,2歳児歯科健診... AM. 9:00～9:30受付 PM. 13:15～13:30
16 火	健康診査結果報告会(7月14日分)保健センター 三混 13:30～14:00町体育館		

平成六年度

海上保安 高等学校 学生募集

一、資格

(1) 昭和49年4月2日以降に生まれた者

(2) 高等学校を卒業した者及び平成7年3月までに高等学校を卒業見込みの者

(3) 高等専門学校(第3学年の課程を修了した者及び平成7年3月までに高等専門学校の第3学年の課程を修了する見込みの者

(4) その他、大学入学資格検定に合格した者等、人事院が(2)に掲げる者と同等の資格があると認める者

二、採用予定数

(1) 大学校学生...約50名
(2) 学校学生...約50名

※お問い合わせ先

第十管区海上保安本部鹿児島航空基地(☎5812541)

〒899-164

溝辺町麓字曲迫二七六一二

音楽鑑賞会の案内

竜門小学校PTA

竜門小学校PTAでは、夏休み期間を利用して音楽鑑賞会を開きます。多数のご参加をお待ちいたします。

一、名称 歌声の素晴らしさを感ずる音楽鑑賞会

二、日時 8月10日(水)
午後2時～3時

三、出演者 柳敏幸・洋子(作陽)

四、入場 無料 音楽大学の先生(他)

五、その他 駐車場あり

楽しい日本の歌、西洋の歌を作陽音楽大学の先生と学生が心をこめて歌います。また、上手な歌い方などの指導もあります。

カライモの植え付けを体験

永原小学校

永原小学校では五月二十八日、全校児童四十一人でカライモの植え付けを体験学習しました。

近くの福森俊朗さんの畑（約三ア）を借りて、一人が八、九本を受け持ち、コガネセンガン百本、ベニサツマ二百五十本を植え付けましたが、植えてから十日間ほどは、日照りが強く活着が悪かったので、三年生以上の児童が交代で

ゴムホースを引いて水をかけていました。

収穫期の十一月末には、日曜参観日を計画し、親子一緒にカライモを取り入れ、いろいろな催し物をする予定です。

やがては、永原地区の農業を背負って立つ子どもたち。カライモの成長を通して、彼らはどんな教訓を学ぶことでしょう。



いい勉強になります

三小学校に図書券を寄贈

宮嶋監督と表彰状を
三宅監督には

加治木ロータリークラブ

加治木ロータリークラブ（美坂正幸会長）は六月二十八日、加治木小学校、柁城小学校、錦江小学校にそれぞれ五万円相当の図書券を寄贈しました。

また、ここ数年のうちに急激に実力アップを図り、加治木に優勝をもたらした柁城ミニバスケット部の三宅監督と、柁城ミニソフトボール部の宮嶋監督らにもそれぞれ表彰状を贈り、その労をねぎらいました。



図書券を手渡す

お中元の代わりに

町に十万円寄付 加治木タクシー

加治木タクシー

「町のために使ってください」と六月二十七日、加治木タクシーと加治木第一交通の社長が役場を訪れ、宇都宮町長に十万円を寄付されました。

これは、タクシーを愛顧してくださる町内のみなさんへのお中元代わりにと、各社五万円ずつ出したものです。

ありがとうございます。



ありがとうございます

町内の河川などを清掃

町建設同志会

「地域に貢献しよう」と加治木町建設同志会は六月二十四日、町内の河川などの清掃に汗を流しました。

これは、建設同志会が県の河川愛護月間に合わせて毎年行っているもので、この日は、町営運動場北側水路、網掛川流域、木田川のやぶ払いや土砂捨てに、百人余りが手弁当で参加。建設会社ならではのユンボやクレーンなどの大型機械がたくさん搬入され、河川はまたたく間にきれいになっていました。みなさん、ごくろうさまでした。



ごくろうさまです

海岸や日木山川をきれいに

福永建設安全協力十日会

海岸愛護月間（七月一日～三十一日）の七月二日、福永建設安全協力十日会のメンバーは、日木山川流域から港湾まで、空きカンや流木の除去作業を行いました。

これは、「河川や港湾をきれいにしよう」という福永和則さんの提唱に呼応した百二十人（四十二社）のメンバーの集まりで、今年で三回目。みんなは、汗だくになりながらも、気持ちのいい汗を流していました。



こんな大きな流木が……

チャリティゴルフで地元寄付

竜門小学校児童減少対策委員会

「地区の活性化に役立てて下さい」と小山田地区の出身者で構成するゴルフ愛好家四十六人が七月十日、竜門小学校児童減少対策委員会に四六、七三二円寄付しました。

これは、満留鐵哉さんらが発起人になり、チャリティゴルフを開催して得たお金。さっそくその日の夕方、小山田地区公民館で対策委員会の川原史郎会長に手渡されると、川原さんは「ありがとうございしました。大事に使わせてもらいます」と、ずしりと重たい会員らの志に感謝していました。



ありがとうございます

まちをきれいに

九州電力加治木営業所

九州電力加治木営業所（下原洋士所長）は六月八日、町に緑化樹十五本を寄贈されました。

これは、九州電力が毎年六月を「環境衛生月間」として行っているもので、町ではさつき、ツツジ五本を小山田保育所に、ラカンマキ五本とホルト五本を高岡公園にそれぞれ植樹しました。

また、同営業所は六月二十日、三十七人の職員を動員して、港町から蒲生田通り、網掛川公園沿い



たくさんのゴミが……

のチリ拾いに汗を流しました。

みなさん、ご苦労さまでした。



チマキみたいでしょう



羽根にふりまわされて…

男女二十人ずつが参加

町バトミントン大会

町バトミントン大会は六月十二日町営体育館で開催され、男女それぞれ二十人ずつが参加してダブルスで戦われました。

〔成績〕

■男子ダブルスAクラス
優勝：渋谷・榎並組
二位：峯苦・藤崎組
男子ダブルスBクラス

優勝：日高・加治木組
二位：長崎・押領司組
■女子ダブルスAクラス
優勝：日高・坂元組
二位：末永・海江田組
■女子ダブルスBクラス
優勝：洲崎・小川内組
二位：恒吉・海江田組

こんなお菓子はいかが：

迫地区のかぼちゃ栽培農家

小山田迫地区のかぼちゃ栽培農家では七月五日、農協食生活改良指導員や加治木農業改良普及事務所の技師、町経済課職員らを招待して、かぼちゃで作ったお菓子の試食会を開きました。

これは、井上春男さんから生産グループのメンバーが、市場にA級で出荷できないかぼちゃを、ほかに利用できないものかといろいろ

研究を重ねていたもので、この日参加した人たちは、竹の皮に包まれ、一見チマキふうのかぼちゃだんごを口にして「これはうまい」と、ひと味違ったかぼちゃの味に舌づみを打っていました。

井上さんらは、これをさらに工夫して加治木の特産品にしようと考えていました、がんばってください。

役場職員 の異動

(7月1日付)

吉田 孝

総務課→都市計画課

外村 朋洋

都市計画課→総務課

加治木町高井田出身の作家・福元早夫氏から、龍門滝と温泉を背景に、歴史をからめて「父と子」をテーマにした短編小説「龍門滝温泉」が送られてきましたので、紹介します。

これは、はじめから福元氏が「広報かじき」に発表されるつもりで執筆されたもので、前の広報紙にもつづられたように、三十五年前に離れた故郷、昔、日がな一日遊んでくれた龍門滝への切実な慕情と愛着が行間にあふれています。

また、久しぶりに会った息子との会話のなかで、父の知らぬ間に成長した息子を一人前の男と胸のうちで認めるくだりに、父と子とはこうありたい、こういうものではないかと、読者に語りかけています。そのときの福元氏と息子さんの姿が、こんなと湧き出る龍門滝温泉のきれいなお湯に写し出されているようです。

▼プロフィール

加治木中学校を卒業後、大阪の製鉄所に就職。二十三歳で文学を志し、昭和53年に「足並をそろえて」で第十六回新日本文学賞を受賞して、作家としてデビュー。現在、西宮市に在住。

＜小説＞

龍門滝温泉

作・福元早夫氏



かねては静かな龍門滝も
ひとたび吠えたと……

息子の太輔と、龍門滝温泉へいった。高倉山のふもとから、田のあぜ道を歩いて行った。姉がわが家のまえで、こつちを見ている。太輔が手をふった。姉がわらった。

夜明けまえに雨が降ったらしい。草むらが水にぬれていて、サンダルをはいた足に、水滴がはねてくる。太輔の靴もぬれている。

雨あがりの桜島山が、まむかいに見えている。緑が濃く映え、南岳が白い煙をはいている。風はない。このふんだと、錦江湾は、湖のようにおだやかなはずである。雲が切れていきははじめ、日ざしが強くなりそうだ。

「去年も、こうやって、この道を二人で歩いたな。今ごろだっ

たな」

たばこに火をつけてから、私は太輔にいった。周囲はれんげ草が咲いている。山のほうで、ひよどりの啼く声がしている。それにこたえるように、もずが鋭い声で啼いた。

「あのときは受験で、温泉気分どころではなかったよ」

太輔がいった。滝の音がしてきはじめた。昨夜の雨はかなりの降ったらしい。龍門滝はごうごうと流れていて、水しぶきが高く舞いあがっていた。

「お父さんにはいろいろお世話になって、感謝しているよ」

頭をさげるしぐさをしながら太輔がいった。

「なあに、故郷があればこそだよ。お祖父ちゃんとお祖母ちゃんのお蔭だよ。二人が太輔をじいっと見守ってくれているんだ」

錦江湾へむかつて先をあらそうように、ごうごうと流れる滝の音を聞きながら、私は太輔にいった。

息子が大学の進路に、鹿児島大学の大学を自分の意志で選択したとき、私はおどろいた。受験して合格したとき、他界した父と母が、孫の太輔を故郷に呼んでいるのだ、と思ったものである。ちかい将来、自分が生まれ故郷へ帰っていくことは考えてい

ても、長男の太輔が先に帰っていくことなど、想像すらしていなかったからである。

「いいなあ、大きな滝をながめながら、湯にとっぷりつかって。最高の気分だな」

温泉の浴槽に首までつかって太輔がいった。顔がほてって、あかくなっている。湯はとめどもなくわき出してくる。

太輔はこの一年、大学の近くの下宿生活で、鹿児島島の生活に慣れた、という。生まれ育った都会の生活より、こつちの方がのんびりしていい、というのだ。

「仕事の疲れで腰が痛かったけど、この三日ばかりの温泉がよいで、よくなったよ。それに、五十肩で左腕がどうにもならなかったのが、ずいぶん軽くなったよ」

滝をながめたまま、湯にからだを深く沈めていきながら私はいった。

「お父さん、ありがとう」

湯のなかで向き合うと太輔がいった。

「なにが」

「ぼくのために苦勞をかけて」

浴槽の中で湯がさかんにおどっている。泡がはじけるときの刺激で、全身を目のまえの滝に打たれているような快感をおぼえ

る。これが、肩や腰や筋肉の疲れを、回復させているのだ。気持ちがいい。

「若い時の苦労は、買ってでも経験しておけというじゃないか。祖父ちゃんも祖母ちゃんもよくいったもんだよ。それに、こっちはまだまだ若いんだから」湯にからだを打たれながら、私は息子にいった。肩に力をいれているのがわかった。大輔が声をださずに笑った。私はつづけた。

「故郷をはなれて三十五年だ。製鉄所の現場で、こつこつと働いてきたんだ。よそ見る余裕などなかったよ。子供たちが成長するまでは、と思つてね」
「家をでて、はじめてわかったよ。両親のありがたさが。故郷のありがたさもね」

「お父さんだつて両親に、大事に育ててもらったんだ。大輔をはじめ、四人の子供たちを大切に育てるのが、両親への恩返しだ、と思つているんだ。頑張らなкや」

「ほんとうにありがとう、お父さん」

「いいんだ。だけど、その気持ち忘れな」

「わかつてるよ。頑張るよばくも。できるだけ自分の力でやつていくよ」

「競争だな、親子で」

平日の午前中のせいなのか、客はさほど多くはなかった。湯は大輔と私の心をあたため、全身をほぐしてくれた。

温泉をでると、空が真つ青だった。雲がちぎれてなくなり、強い日ざしで周囲が明々としていた。新緑が太陽にかがやき、目がいたいくらいだ。大輔と私は、瀑観音への坂道をのぼつていった。つつじが満開だった。

「昔、唐人がこの滝を見て、漢土の龍門瀑を見るがごとし、とあったことから、龍門滝と呼ぶようになったのか。遣唐使のころだな」

温泉の売店でもらった観光案内を見ながら大輔がいった。

「薩摩半島の南に、坊津という所があるだろう。あそこが昔は遣唐使の船の発着する所だったそうで、中国大陸との交通の拠点だったらしいよ。だからこの地も、昔は中国との国交があったということだよな」

急勾配の坂道に息をはずませながら、私は頭の中に郷土誌をひろげ、大輔にいった。

「ということは、中国にも龍門滝があるということだ」

大輔がいった。私がこたえた。
「ある。黄河の上流だ。毛澤東が中国革命の拠点にした延安か

ら、東南へ三十五キロいった所だ。陝西省韓城龍門というところだ。司馬遷の故郷だよ」

「そうだ。『史記列伝』をかけた司馬遷は、龍門の出身だったんだ」

大輔が叫ぶようにいつてからつづけた。

「司馬遷があれを書いたのは、父親の遺言らしいね。史官だった父親との約束を守ったんだ。でも、今から二千年以上も昔だからすごいよね。紙はまだないんだから」

大輔は子供のころから歴史が得意である。夕食時によく教えられたものである。

坂道をのぼりつめると、私たちは瀑観音の石座像にむかつて立った。

「この観音様は、学問の神様だ。この地の六代目城主だった島津久徴が建てたらしい。若者たちに、滝の勢いに負けないように、精神と肉体をきたえて、学問に励め、と祈願されているらしい。久徴は学者で詩人だった」

私がいった。それを信じて大輔が祈りをこめながら、深々と頭をさげた。

「こうやって、滝とむかい合っている、全身に力がわいてくるね。すごい迫力だ」
滝にむかつてこぶしをつかみ

ながら大輔がいった。龍門滝はすさまじい勢いで流れている。滝つぼを叩きつける大量の水の音が、ごうごうと地響きをたてている。恐ろしいくらいだ。こちらがひるむと、天から襲いかかつてきそうである。舞いあがる水しぶきが、霧になってむかつてくる。目まいがしそうだ。

「島津義弘も兄の義久も、この滝をよく眺めにきたらしい。息子の忠恒もだ。詩がのこっている。四百年くらい前のことだ」
私がいった。

「戦国大名の薩摩島津氏は、この滝に精神を刺激されて、あの英知と覇気をつちかしたわけだ。そういえば、義弘は関が原の役のとき六十七歳だった。すごい情熱だね」

こぶしをつかんだまま大輔がいった。

「義弘は息子の忠恒のことが気がかりで、手紙をよく書き送っている。慶長の役で朝鮮に出征しているときや、のちの京都に忠恒がいるころ、酒にのまれるな、遊びすぎるな、と生活態度をきびしくいましめているんだ」

私は息子にいった。

「頭が痛いなあ、こつちが怒らせているみたいだよ、比喩がきつすぎるんだから」

大輔が頭をかきながらいい、

すぐに真剣な顔になってつづけた。

「豊臣秀吉は息子の秀頼を溺愛しすぎたために、豊臣家は滅亡した、といたいんだらう」
「そうだ。わかつてるのなら、もう行こう。また帰ってくるよ。大輔の成長を確かめに」

息子の肩をたたきながら私はいった。

「伯母ちゃんが昼食の支度をしておくから、といつていた。待っているよ、きつと」

大輔がいった。両親が世を去ってから、姉がわが家を守っている。大輔にとつて姉は、祖母みたいなものである。私と大輔は、高倉山のふもとへむかつてならんで歩きはじめた。

背後で滝が、とつともなく大きな力を持った生き物のように、轟々と鳴り響いていた。



木田地区ならではの社会貢献

総勢八十人で田植え

収穫した米を半分町に寄贈

木田青壮年会

木田青壮年会（堀ノ内敏則会長 会員八十三人）は六月二十六日、会員とその子どもや一般を交え、扇蘭正光さん耕作の上木田のたんぼ（約十ア）で手植の田植えを行いました。

これは、今年の会長を引き受けた堀ノ内さんが「木田地区ならではの社会貢献をしよう」と始めたもので、これには地区の方々も大賛成し、総勢八十人余りが参加。出来たモチ米の半分は町の社会福祉協議会に寄付し、老人給食サンプスなどでお正月のモチに使ってもらおうというものです。

この日は、昔なつかしい尺を測る竹棒五本を用意。親苗に合わせ、竹に刻んだ印のところに植えていくのですが、これだと、早い組と遅い組が目瞭然。さすがに幼児のいる組はまごついていて、うでしたが、人数が多いため、始めてから四十分くらいで、田んぼは緑のじゅうたんに早変わりしていました。

この木田青壮年会は、昭和四十三年、木田地区の青壮年有志一同が馬踊りや太鼓踊り、お田植え祭（鹿児島神宮）の郷土芸能継承のために発足させた団体です。

岸野純一さんが

菖蒲の花を寄贈

板井手の滝横に植栽

萩原の岸野純一さんが札立で栽培し、このほど町に寄贈された菖蒲の花が六月二十一日、板井手の滝横の田んぼ（井出向實志さん所有）に植栽されました。

この付近は、龍門滝の上にある滝公園からちよつと足をのびた上流で、川はこじんまりした溪谷をしており、ぼたるの滝、かわせ

みの滝、金山橋、板井手の滝などがあり、ごうごうと水しぶきを上げる勇壮な龍門滝とはひと味違った閑静な所。町では、この菖蒲畑が滝周辺観光の花になると期待して約千平方メートルに植付けました。まだ百平方メートルほどの空地があります。何かめずらしい花苗を提供したい方は、ご一報ください。



おおぜいで植えるとすぐおわる



やがてはきれいな花に……



▼天変地異
が世界で続く
なか、日本政
界でも晴天の
霹靂ともいえ
る、村山内閣
が誕生した。

腐敗政治を問われて野に下った自民党が、水と油に例えられる社会党と連合して、再び政権の舵をとることになった。これも天変地異のなせるわざと、自らを納得させなければ、胸のつかえが下りないことであつた。

▼さて、天変地異といえば、

天変地異にも

真向から立ち向かう

今年の夏だ。昨年とはうって変わって雨が降らず、特に暑い。うだるような暑さに、植えたばかりの稲の苗もぐったりしている。三十度を越す日が続き、日中、外に出ると顔や体も焼きつくされんばかりだ。水不足にあえぐ県が出るのも当然だ。

こうも毎年、異常気象が続くと、宇宙に飛び立った向井千秋さんではないが、地球脱出の用意も必要になってきはしないかと、ふと空恐ろしく思うことがある。

▼雨が降らないといっても、

とりたてて加治木が、水不足に悩まされたという記憶はない。大隅半島は、ほとんどの大地を高い山並みに覆われ、少々雨が降らなくても多分に水を含んでいるのだ。小さいながらも加治木には、霧島山脈から長い旅を経て、横川や溝辺の山水をたたえてくる元気な川がある。これが自然の力であろう。

▼先日、日本山川をのぞいたら、少し川底がさらけだされ、その砂地にサギが群れていた。百羽はいたかもしれない。見ると、サギは砂地に踏ん張り、見

事な口さばきでアユを取っていた。それもアユの真ん中を正確についばむのだ。見事の一言につきた。動物たちは、人間みたいに天変地異を呪ったり、嘆いたりしてはいない。その間隙を縫って、エサ取りの正業にいそしんでいるのだ。

▼それを見て、サギに教わったような気がした。人間も、天変地異や晴天の霹靂などに動転することなく、それに直面しなければならぬ。……人間には知恵と、自由に動く手足があるのだから。

棕文学館だより

日韓児童文学

交流セミナーを開催予定

— 棕文学を語る —

来る八月十七日(水)棕鳩十文学記念館においては、棕鳩十と金聖道の作品を主軸として、日韓児童文学交流セミナーを開催することとなった。

棕作品については、数カ国語に訳され、その国の少年少女に読まれ、感動を与えている。

特に中国においては、十数種の作品が訳され、中国の子どもたちに親しまれている。

韓国ソウル市にある檀国大学教授文学博士李在徹氏は、韓国児童文学学会会長の要職にあり、日本児童文学についても研究を続け造詣が深い。

特に最近、棕文学に関心を持ち棕作品の分析評論に精力的に取り組んでいる。

今回の交流セミナーには、李在徹博士をはじめ、韓国児童文学研究家十名くらいが参加する。

日本側は、元早稲田大学教授で棕文学研究の権威鳥越 信氏をはじめ、大谷大学教授西田良子氏、韓国児童文学研究家仲村修氏、作家城戸典子、棕文学研究家畠野洋子氏などに相談済み

である。

棕文学は、生命の尊厳を基盤とし、人間はもちろん、動植物もあるがままに自然に生きることを訴えた。さらに「力一杯今を生きる」こと、「感動こそ魂である」と読者に訴えた。

これらの理念は、世界人類が共鳴し、共有を願っている理念である。

この理念を追求することを願って、セミナーを開催することになった。

金聖道の作品については後日紹介することもあるが、一口に言って、棕文学魂と共鳴する作品を残した韓国一流の児童文学者である。

今回の日韓児童文学交流セミナーは、決して大々的な催しとはいえないが、文学を通しての国際交流事業として、その本質的意義をだいたいにしたい。

加治木町棕文学記念館は、開館五年目にして、遠大な将来を夢みて、今回の日韓児童文学交流セミナーを意義あらせたい。

加治木文化財ウオッチング(19)

太鼓踊

毎日、肌を焦がすような強い陽射しが続いています。このうだるような暑さを、そろそろ太鼓踊の季節だと感じるのは、数百年来、この地に根づいて生きてきた「加治木っ子」の血のなせるわざかもしれません。

さて、従来、伝統的に八月十六日に行われていた太鼓踊の開催日が、今年から盆明けの日曜日(今年は八月二十一日)に変更されました。

急激な社会情勢の変化が、民俗芸能の伝承を困難にさせ、各地で消滅したり、途絶えたりした事例をよく耳にしますが、後継者育成や保存伝承のため、やむをえない最低限の変化は、いたしかたのない事なのです。

これまでも太鼓踊は、時代に即応してその形態を変えてきました。それでは、その歴史を少し紹介してみよう。

そもそも言い伝えでは、島津義弘が文禄・慶長の役の凱旋記念にと、家臣にこの踊を習得させて、薩摩に持ち帰ったといわれていますが、そのうちの一人が工夫して山田郷に伝授した後、隣の西別府にも広がったと

され、その後、いつのころから、町内各地でも踊られるようになりました。そのためか、県内全域の太鼓踊も義弘に由来するものだといわれるようになりました。

このことは、あくまでも伝承ですから、どこまでが事実か定かではありませんが、このような広がりは発展的変化と考えることができ、今日のように多種多色になってきた太鼓踊が、ひとつの面白味にもなっているといえます。

太鼓踊は以前、旧暦の八月十六日、十七日の両日行われ、木田の長年寺に勢ぞろい(現在は春日神社)していましたが、のちに隔年で出演したり、戦後一時途絶えた時期もあり、また、藩制時代は山田地区も参加していたようで、隼人の小浜地区が参加していたのもそれほど古い記憶ではありません。それに、平成四年に行った「太鼓踊フェスティバル」では、約百年ぶりに「馬責め」が再現されて話題を呼びました。

このように、四百年以上受け継がれてきた太鼓踊も、時代の



勇 壮 に 踊 る …

太鼓踊は
今年から盆明けの
日曜日に開催
今年は
8月21日

変化に応じて継承されてきたのです。今回の開催日の変更も、次代へ受け継ぐためのものだというところをご理解いただき、今後ともご声援をよろしくお願いいたします。



親子映画鑑賞会

〔椋鳩十文学記念館自由の館〕
日時 8月28日(10時)

映画 ①おやゆび姫

②アルプスの名犬バリー

主催 加治木町親子映画会

※無料ですので児童・生徒・親子
多数ご鑑賞ください。

役場職員を募集

締切 8月22日

一、職種・人員(若干名)

一般事務・学校給食調理員・
保健婦

二、資格

(1) 一般事務・学校給食調理員
学歴は問わない。高卒以上の
学力を有し、昭和43年4月2
日から52年4月1日までに生
まれた者(来年3月卒業者を
含む)。

(2) 保健婦

保健婦の免許を取得している
者(平成7年5月取得見込み
者を含む)で、昭和34年4月
2日から昭和49年4月1日ま
でに生まれた者。(臨床経験
を有する者が望ましい)。

三、試験 9月18日(日)

四、試験内容

▼一般事務・調理員・保健婦
国語・数学・英語・社会・理
科・一般知能・作文
▼専門職試験(調理員)
栄養学等の一般知識

六、手続

○8月22日(月)までに総務課
へ自筆履歴書・身上書(写真
添付)を提出。
○郵送は8月22日(月)の消印
のあるものは有効。
○履歴書・身上書は役場総務課
にある統一様式を使用。
※くわしいことは役場総務課へ
☎六二二二二二(内線二六一)

うぶ声



福森 明香 敏 吉原
宮路 祐樹 武彦 郁文館住宅
日高 翔 学 蔵王団地
吉満 隆友 文隆 蔵王団地
八木優貴乃 徹 原ノ門
高田麻衣子 浩一郎 天神
内村 慶 浩二 反土黒川
木上 竜二 眞二 反土黒川
小門口弓真 幸二 豊町
宮原 大周 英雄 東諏訪
下堂 珠生 純二 上木田
山元 暢也 光伸 岩原西
岩下 純哉 廣志 赤坂
犬童 直樹 正人 里ノ下
堂地 祥史 芳孝 今町
馬込 純花 賢治 原ノ門
▽六月二十日までに住民台帳に記
載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに
御寄付をいただきました。
た。厚く御礼申し上げます。
ごめい福をお祈りいた
します。(一)内は故人

町社会福祉協議会へ

五万円 豊町 村田經敏(妻 久子五)
二万円 棚目 仁田フヂ(夫 杉雄八)
五万円 市来原 市来原スミ子(夫清則六)
二万円 吉原 岡本洋三(母 糸み九)
五万円 西塩入団地
高山卓爾(妻 美恵子五)

平成6年8月在宅医表

7	池田 医院	内科・小児科 加治木町本町358 ☎62-2220
14	川畑 内科	内科・小児科 加治木町錦江町233 ☎63-1499
21	壺岐 医院	内科 溝辺町有川812 ☎59-2019
28	徳永 医院	内科 溝辺町有川231 ☎59-2823
※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として) ※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。		
日曜・祝日 歯科救急診療 10時~15時 郡歯科医師会館 口腔保健センター (0995-58-4388・溝辺町空港近く)		

記事訂正とおわび

六月号の記事中誤りがありまし
た。深くおわびし訂正します。

(敬称略)

2ページ「町衛生協会」の記事中
中山澄雄会長→中元邦利会長

6ページ「バレー大会」の記事中
女子バレー優勝

柁城クラブ→加治木クラブ

8ページ「うぶ声」中

吉村敬太→吉松敬太

新開

三万円

市来原 日高春雄(母 トミ八)

三万円 須崎 谷山ナツエ

三万円 毘沙門 西田春雄(母 フヂ八)

五万円 高井田 城 朋子(夫 剛一八)

三万円 須崎 杉田キミ子(夫英重八)

二万円 田中 福岡マサエ(夫利光七)

五万円 永原 内村アキエ(夫 勲八四)

一万円 岩原西 宿里典助(妻 キク七)

五万円 新開 小原ヒデ(夫 親志七)

三万円 札立 石川オウ子(夫照男六)

十万円 今町 新名 茂(母 イセ九)

▽六月二十日までの御寄付を掲載
いたしました。(年齢は満年齢)